

令和 6 (2024) 年度日本歴史研究専攻授業計画

授業名	物質文化資料論				
担当教員	山田慎也				
授業概要	<p>表象をめぐる物質文化研究・講義</p> <p>葬送儀礼における遺体、および遺影や位牌、墓などの機能や目的、それに対する人々の行為をとおして、人々の死の観念を検討する。</p>				
教育目標・目的	<p>人々の生活の中で、信念、信仰に関する民俗はさまざまな具体的物質を用いて観念等を表象することが多い。死者儀礼の表象のあり方を検討し、民俗世界における死の観念の認識と物質文化との多様なあり方について理解することを目的とする。</p>				
成績評価	平常点 (3 割) およびレポート (7 割)				
授業計画	1. 死者儀礼と表象	9. 白木祭壇の発展			
	2. 先祖祭祀と仏教	10. 生花祭壇			
	3. 葬列の機能と表象	11. 遺影			
	4. 葬列道具の表象	12. メモリアルグッズ			
	5. 引導作法と荘厳	13. 墓と納骨堂			
	6. 告別式の成立	14. 家墓の変容			
	7. 祭壇の誕生	15. 葬儀の変容と表象			
	8. 白木祭壇の成立				
実施場所	演習室	使用言語	日本語		
前期・後期の別	前期	対象年次	3, 4, 5	単位数	2 単位
教科書・参考図書	山田慎也 2007 『現代日本の死と葬儀－葬祭業の展開と死生観の変容』 東京大学出版会				
備考					